

2024年5月2日 全7頁

消費データブック（2024/5/2号）

個社データ・業界統計・JCB消費NOWから消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 中村 華奈子

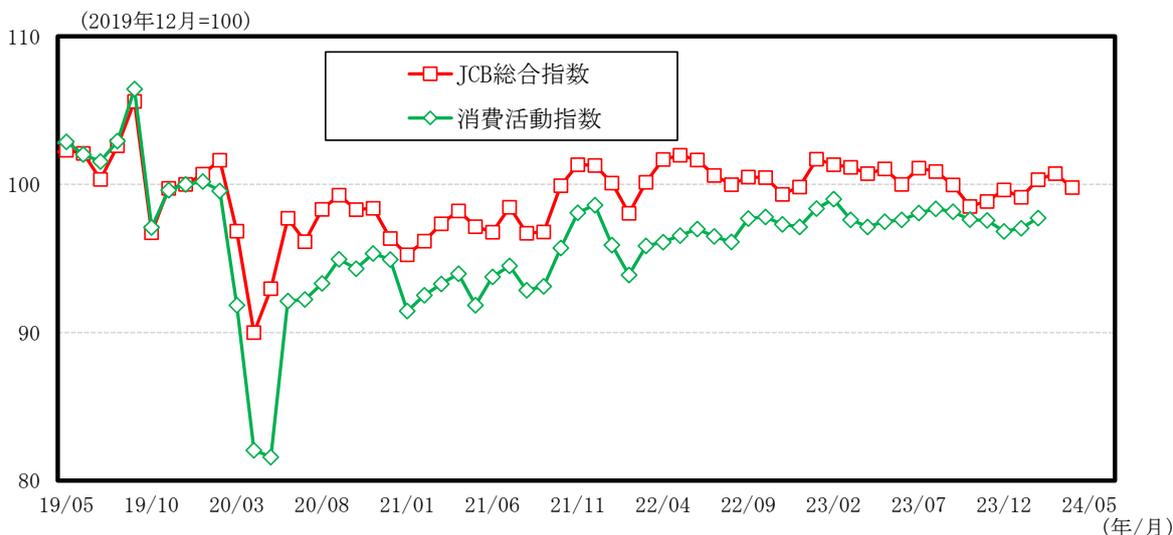
[要約]

- 2024年3月の消費は2月から減少した。財消費のうち、百貨店商品販売額やアパレル販売額はコロナ禍前の2019年同月比で前月から低下した。新車販売台数は2月に続いて減少した（大和総研による季節調整値）。サービス関連では、旅客機輸送量のマイナス幅が2019年同月比で前月から拡大した。宿泊者数、外食売上高の伸び率も低下した。
- 4月の消費は3月から小幅に減少したとみている。財消費のうち、百貨店大手3社の既存店売上高はうち2社において2019年同月比で3月からプラス幅が拡大した。新車販売台数は、一部工場の稼働再開の影響もあり6カ月ぶりに増加に転じた。他方、家電消費額は前月から減少した（大和総研による季節調整値）。サービス消費のうち、新幹線輸送量は2019年同月比で3月から伸び率が縮小した。JCBが集計した宿泊消費額は前月比で増加し、外食消費額も減少した。

<消費全体の動き>

- ◆【JCB 総合指数】 24 年 4 月の JCB 総合指数¹（大和総研による季節調整値）によると、実質消費額の伸び率は前月比▲0.9%と減少。内訳を見ると、財は前月から減少、サービスの伸び率は横ばい。

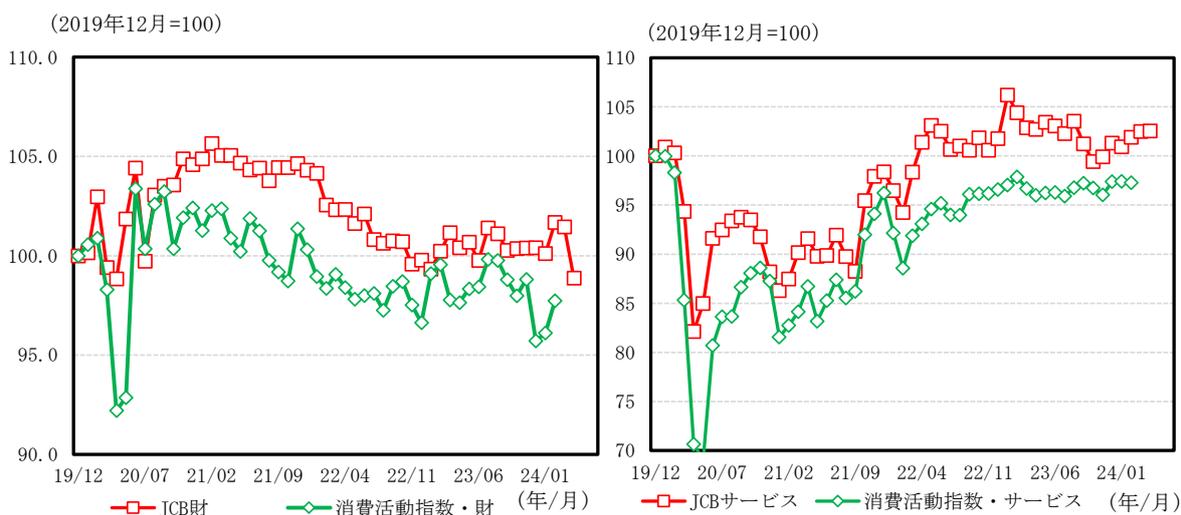
図表 1：消費活動指数・JCB 総合指数



(注) JCB 総合指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24 年 4 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

図表 2：財・サービス別に見た消費の動き



(注 1) JCB 財指数・JCB サービス指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24 年 4 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(注 2) 財の消費活動指数は、当該指数の耐久財・非耐久財を形態別ウエイトで加重平均したもの。

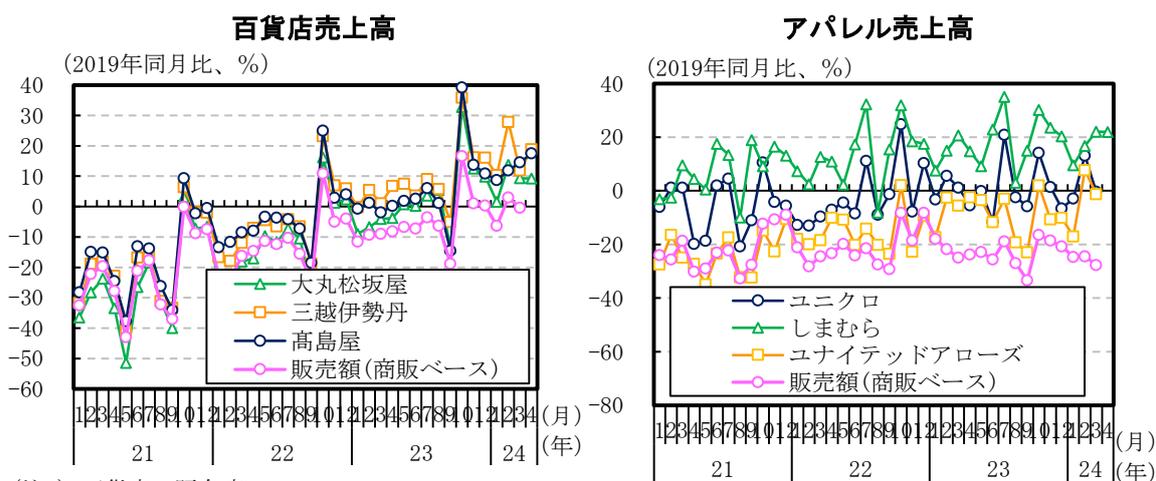
(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

¹ JCB グループ会員の中からランダムに抽出された約 1,000 万会員を対象に、ナウキャスト社が作成・公表している消費指数。

＜小売関連＞

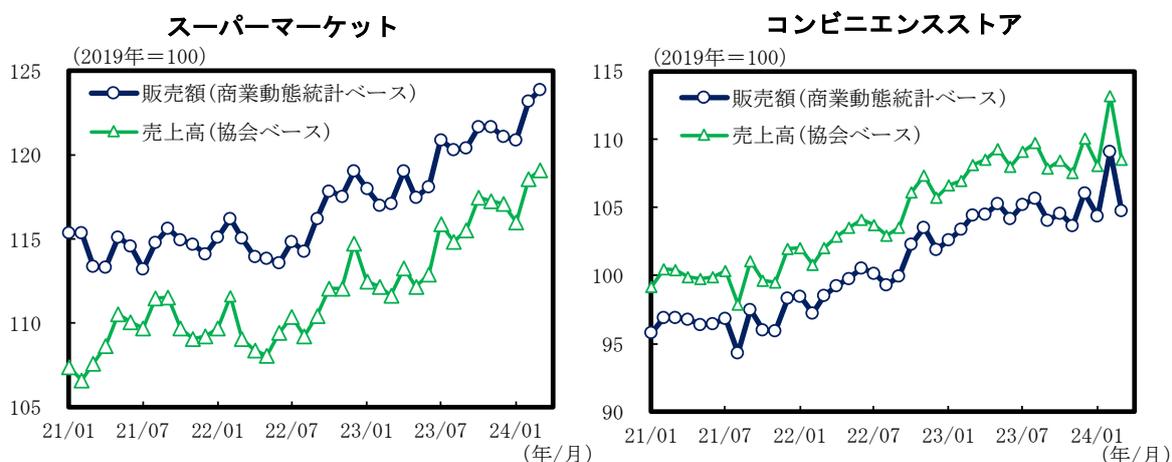
- ◆【百貨店】 24年3月の百貨店商品販売額（商販ベース）は、コロナ禍前の19年同月比でマイナスに転じた。24年4月の百貨店大手3社の既存店売上高は同+9~19%程度で、伸び率は大丸松坂屋以外で前月から拡大。衣料品の売上が好調。
- ◆【アパレル】 24年3月のアパレル販売額（商販ベース）は19年同月比で前月からマイナス幅が拡大。24年4月のしまむらの既存店売上高は前月から伸び率が横ばい。月後半以降の気温上昇に伴い初夏物の販売は好調。

図表3：百貨店・アパレルの売上高



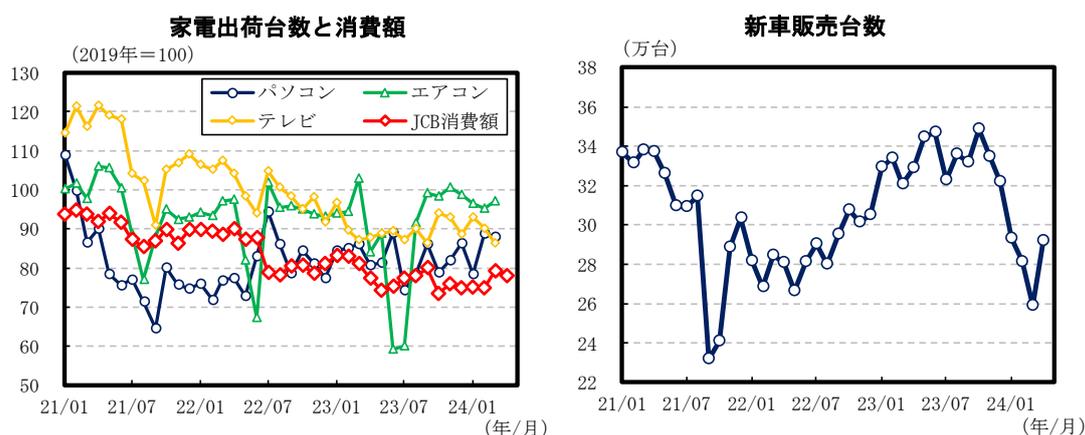
- ◆【スーパーマーケット】 24年3月の販売額は前月比+0.6%（大和総研による季節調整値）。飲食料品などの販売額が増加。
- ◆【コンビニエンスストア】 24年3月の販売額は前月比▲4.0%（大和総研による季節調整値）。日配食品や加工食品、各種チケット等のサービス販売額が減少。

図表4：スーパーマーケット・コンビニエンスストアの売上高



- ◆【家電】24年3月の出荷台数はエアコンが前月比+2.0%、パソコンは同▲1.0%、テレビは同▲4.3%（大和総研による季節調整値）。24年4月のJCB消費額（機械器具小売業）は同▲1.5%と前月から減少（大和総研による季節調整値）。
- ◆【自動車】24年3月の新車販売台数は前月比▲7.9%。24年4月は同+12.7%と6カ月ぶりに増加し、24年1月並みの水準まで回復（大和総研による季節調整値）。トヨタ自動車やダイハツ工業の一部工場の稼働再開の影響が含まれる。

図表5：家電出荷台数と新車販売台数



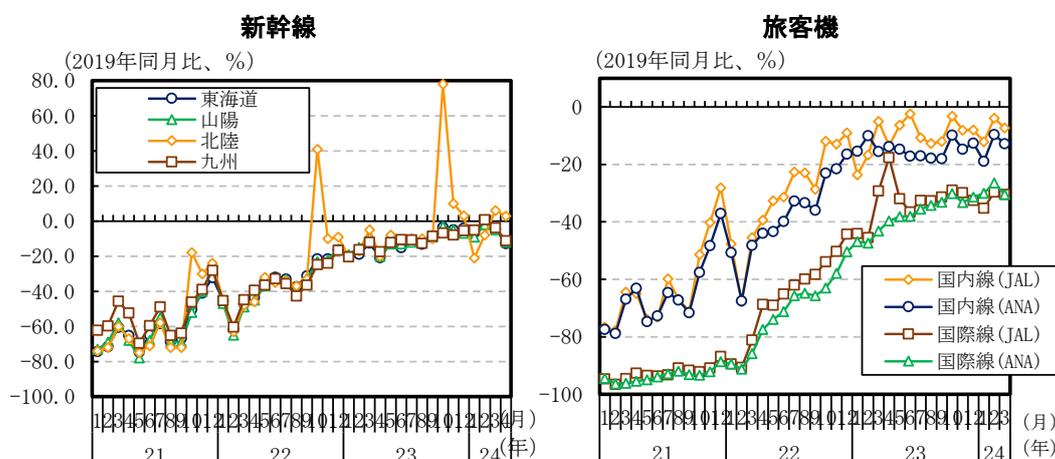
(注) 大和総研による季節調整値。JCB消費額はJCB「機械器具小売業」。24年4月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(出所) 電子情報技術産業協会、日本冷凍空調工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<サービス関連>

- ◆【新幹線】24年3月の輸送量は19年同月比▲5～+6%程度。24年4月の輸送量は同▲13～+3%程度と、いずれも前月から伸び率が縮小。
- ◆【旅客機】24年3月の国内線輸送量は19年同月比で▲13%～▲7%程度、国際線輸送量は同▲30%程度といずれも前月からマイナス幅が拡大。航空各社のGW期間の予約状況（4月19日時点）を見ると、国内線は前年比+1%程度、国際線は同+22%程度²。

図表6：新幹線・旅客機の利用状況

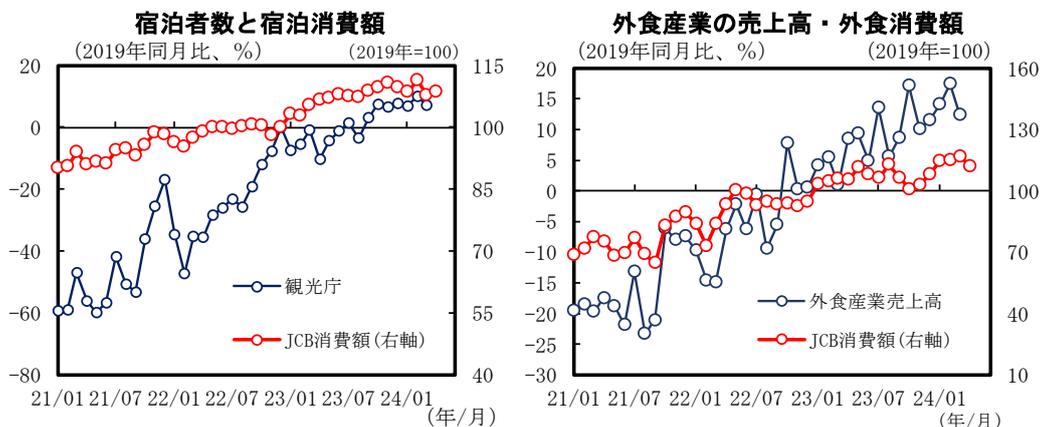


(注) 24年4月の東海は29日、山陽と北陸は28日、九州は23日まで。JAL・ANAのデータはグループ会社を含む。
(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

² 「航空各社、GWの国際線予約22%増 ハワイなど人気」（日本経済新聞、2024年4月19日）

- ◆【宿泊】 24年3月の宿泊者数（観光庁、宿泊日数ベース）は19年同月比+7.2%と前月からプラス幅が縮小。24年4月のJCB宿泊消費額は前月比+0.8%。
- ◆【外食】 24年3月の外食産業の売上高は19年同月比+12.3%と前月からプラス幅が縮小。24年4月のJCB外食消費額は前月比▲4.2%。

図表7：国内宿泊者数と関連消費額（左）、外食産業の売上高と関連消費額（右）

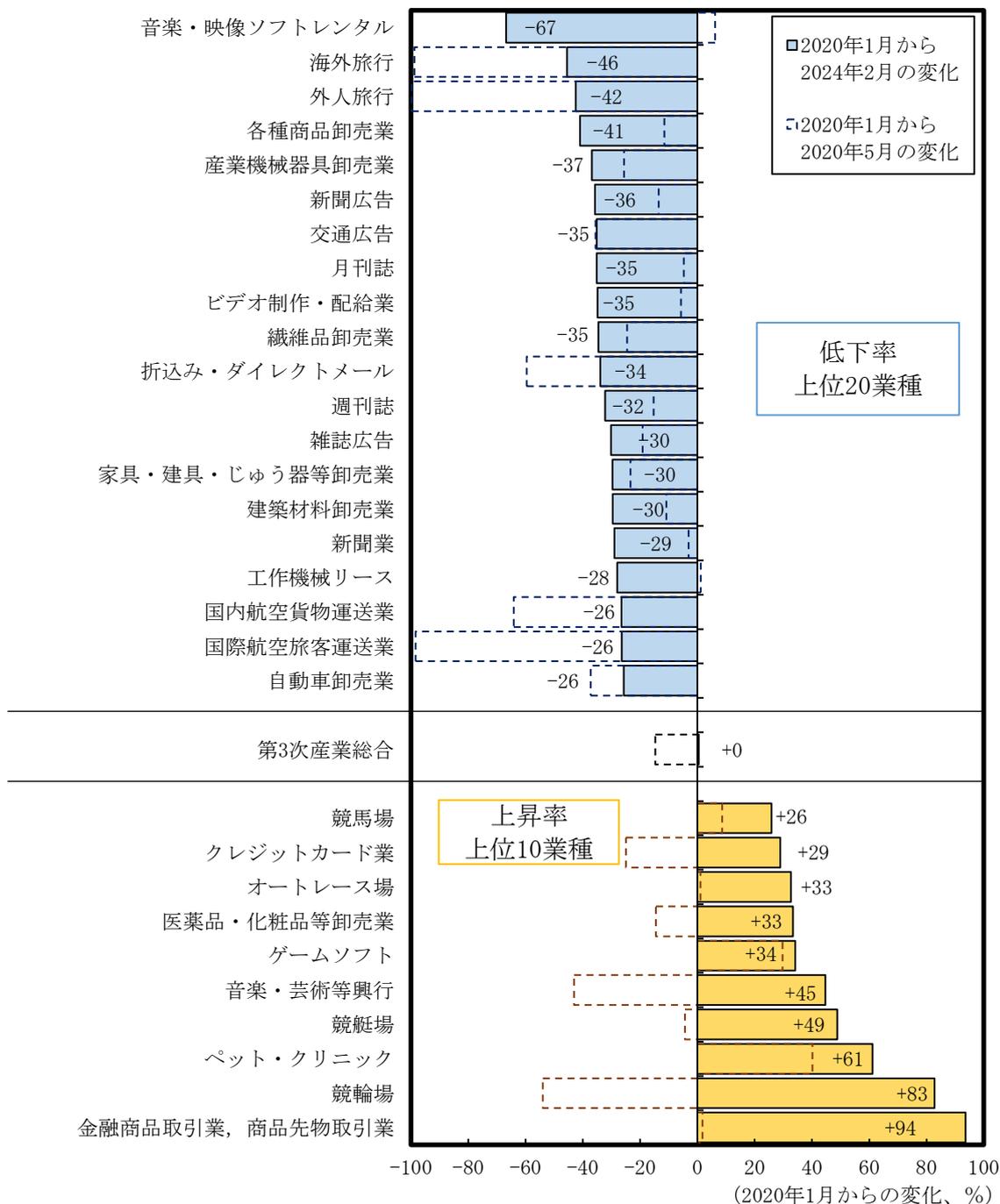


(注) 24年4月分のJCB消費額は月前半のデータをもとに伸び率を試算。観光庁統計は宿泊日数ベースのデータを用いている。

(出所) 観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<参考：第3次産業活動指数>

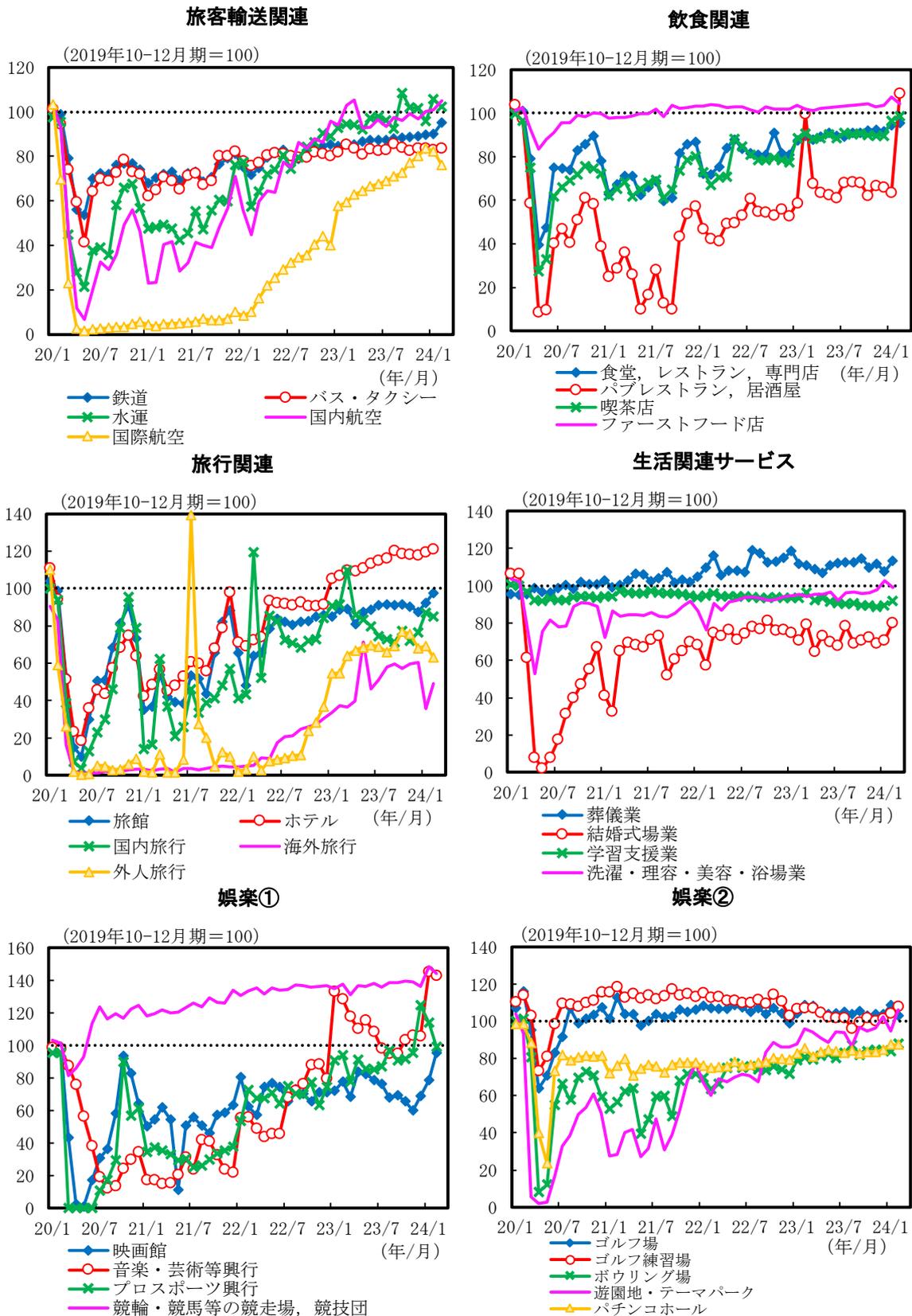
図表 8-1：第3次産業活動指数（2024年2月）



(注) 季節調整値。図中の数値は2020年1月から2024年2月の変化率。

(出所) 経済産業省より大和総研作成

図表 8-2 : 運輸業・生活関連サービス業における活動指数の推移



(出所) 経済産業省より大和総研作成